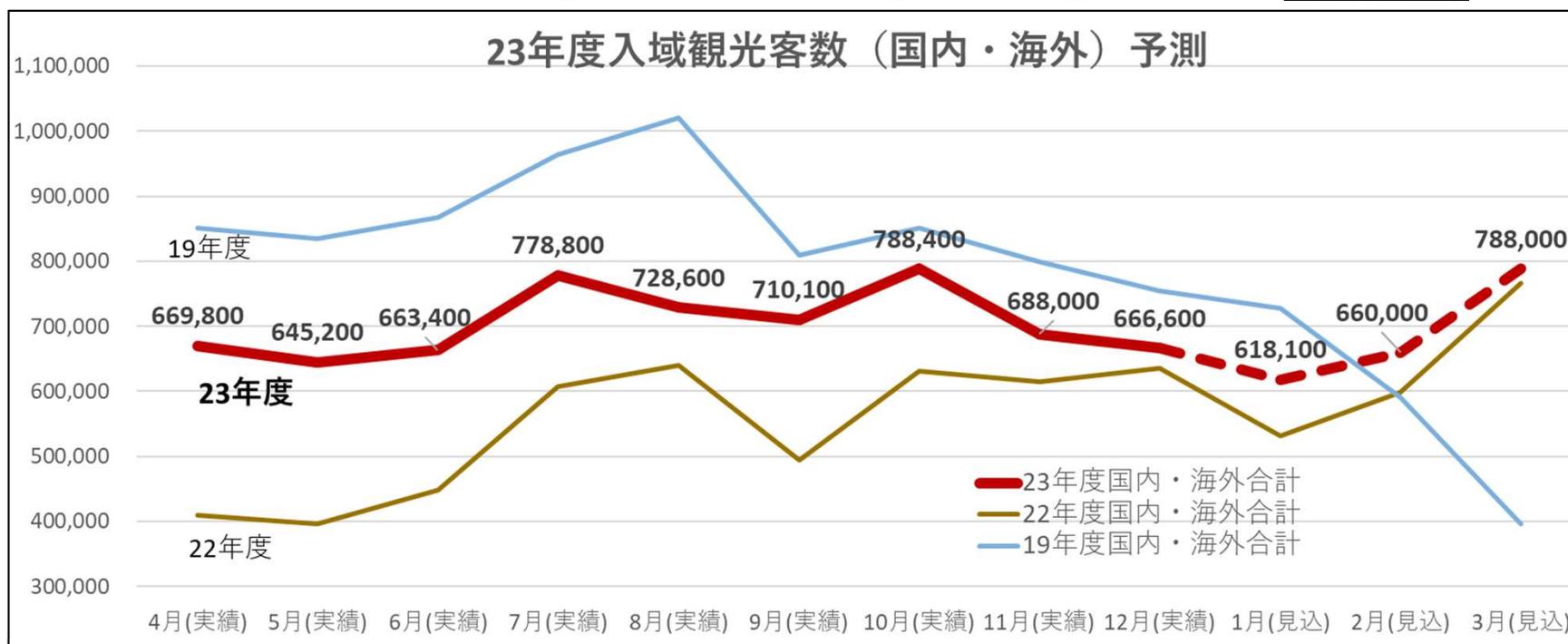


①入域観光客数概況(23年12月実績および1月～3月見通し)

1. 入域観光客数概況(23年12月実績および1月～3月見通し)

	4月(実績)	5月(実績)	6月(実績)	7月(実績)	8月(実績)	9月(実績)	10月(実績)	11月(実績)	12月(実績)	1月(見込)	2月(見込)	3月(見込)	1-3月計	23年度計
23年度国内(空路)	601,700	564,200	577,300	654,900	628,700	599,700	667,600	595,400	566,500	510,000	530,000	650,000	1,690,000	7,146,000
23年度国内(海路)	1,400	11,100	8,400	8,700	3,500	3,800	5,300	1,700	5,000	3,100	2,000	8,000	13,100	62,000
23年度国内合計	603,100	575,300	585,700	663,600	632,200	603,500	672,900	597,100	571,500	513,100	532,000	658,000	1,703,100	7,208,000
23年度海外(空路)	60,200	63,300	68,100	80,300	71,600	79,600	79,000	77,300	88,900	95,000	96,000	95,000	286,000	954,300
23年度海外(海路)	6,500	6,600	9,600	34,900	24,800	27,000	36,500	13,600	6,200	10,000	32,000	35,000	77,000	242,700
23年度海外合計	66,700	69,900	77,700	115,200	96,400	106,600	115,500	90,900	95,100	105,000	128,000	130,000	363,000	1,197,000
23年度国内・海外合計	669,800	645,200	663,400	778,800	728,600	710,100	788,400	688,000	666,600	618,100	660,000	788,000	2,066,100	8,405,000
22年度対比(国内・海外)	163.8%	162.6%	147.9%	128.1%	113.7%	143.5%	125.0%	111.9%	105.0%	116.1%	110.4%	102.8%	109.0%	124.1%
19年度対比(国内・海外)	78.7%	77.3%	76.4%	80.8%	71.3%	87.7%	92.6%	86.1%	88.3%	84.9%	85.5%	89.1%	85.7%	88.8%
23年度国内空路/19年度国内空路	100.9%	101.4%	102.1%	100.2%	85.4%	101.8%	108.5%	99.9%	100.1%	95.8%	100.6%	100.1%	99.5%	103.2%
23年度国内海路/19年度国内海路	28.0%	108.8%	200.0%	126.1%	145.8%	292.3%	94.6%	42.5%	74.6%	140.9%	37.7%	102.6%	86.2%	117.0%
23年度国内合計/19年度国内合計	100.3%	101.6%	102.8%	100.4%	85.6%	102.2%	108.4%	99.5%	99.8%	96.0%	100.4%	100.1%	99.4%	103.3%
23年度海外空路/19年度海外空路	40.6%	39.0%	40.1%	46.1%	47.7%	65.9%	64.2%	79.0%	84.7%	77.9%	69.2%	66.9%	66.3%	66.9%
23年度海外海路/19年度海外海路	6.4%	6.2%	7.5%	27.1%	18.7%	27.6%	34.0%	13.4%	8.0%	14.0%	31.6%	41.4%	29.0%	22.8%
23年度海外合計/19年度海外合計	26.6%	26.0%	26.0%	38.0%	34.1%	48.7%	50.1%	45.7%	52.1%	54.3%	53.3%	57.4%	52.1%	39.9%

※2月の国内海路、海外空路、海外海路、および3月の国内(空路・海路)、海外(空路、海路)については19年2月、3月と比較(コロナの影響を受けているため)



1. 入域観光客数概況(23年12月実績および1月～3月見通し)

(概況)

国内入域については県内各地で開催されるマラソン大会やプロ野球・プロサッカーキャンプなどのスポーツイベントの開催により、旅行需要は引き続き好調に推移すると見込まれる。宮古・石垣を含む東京発沖縄路線の需要が高い。

海外入域については、空路は特に台北、韓国仁川、香港路線については予約が堅調に推移しているほか、台北路線の増便および高雄路線の運航再開、上海路線の増便等により空路入域客数に関してはコロナ前の7割弱の水準まで回復する見込み。

海路は那覇発着のクルーズが1～3月間で計11件の他、台湾や中国(上海・厦門・香港)などから入港が予定されているが、入域客数はコロナ前の3割程度の水準となる見通し。

なお、2023年の年間入域観光客数は8,235,100人となり対前年比で44.5%と増となった(コロナ前比では81.0%)。

(詳細)

・1月 :【国内】(空路) コロナ前の水準に近い51万人(23年1月対比 105.0%、20年1月対比 95.8%)と見込む。宮古・石垣を含む東京・大阪発沖縄路線の需要は引き続き高い。

(海路) 横浜港から1回入港予定。入域客数は0.3万人(20年1月対比 136.4%)の見通し。那覇発着台湾(基隆)クルーズの運航が3件あった。

【海外】(空路) 台湾路線(台北・高雄)の増便・運航再開や上海路線の増便により入域客数は9.5万人(20年1月対比 77.1%)となる見通し。

・台北那覇路線◆チャイナエアライン:1月1日から火・木・土・日曜のみ1日2往復へ増便

・高雄那覇路線◆チャイナエアライン:1月1日から月・水・金曜のみ運航

◆タイガーエアー1月16日から1日1往復運航(2月14日まで)

・上海那覇路線◆中国東方航空:1月26日から月火木金日曜(週5)のみ1日2往復へ増便

◆中国春秋航空 1月26日より新規就航(月・水・金・日曜)

◆上海吉祥航空 3月31日まで運休

(海路) 中国(上海、香港)より2回入港予定。入域客数は1.0万人(20年1月対比 14.0%)となる見通し。

1. 入域観光客数概況(23年12月実績および1月～3月見通し)

(詳細)

- ・2月 :【国内】(空路)コロナ前とほぼ同水準の53万人(20年2月対比 100.6%)と見込む。プロ野球、プロサッカーキャンプにより旅行需要は好調に推移する見込み。
(海路)入域客数は0.2万人(19年2月対比 37.7%)となる見通し。尚、那覇発着台湾(基隆)クルーズの運航が7件予定されている。

【海外】(空路)春節連休期間(2月10日～17日)において、台湾や韓国路線については好調に推移しているが、香港や中国本土(上海、北京)路線については全体的に弱含みの傾向となっている。入域客数は9.6万人(19年2月対比 69.2%)となる見通し。
(海路)香港や上海などから計8回入港予定。入域客数は3.2万人(19年2月対比 31.6%)となる見通し。
- ・3月 :【国内】(空路)コロナ前とほぼ同水準の65万人(19年3月対比 100.1%)と見込む。
(海路)入域客数は0.8万人(19年3月対比 102.6%)となる見通し。

【海外】(空路)入域客数は9.5万人(19年3月対比 66.9%)となる見通し。
(海路)香港や上海などから計9回入港予定。入域客数は3.5万人(19年3月対比 41.4%)となる見通し。
尚、那覇発着台湾(基隆)クルーズの運航が1件予定されている。

2. 県内ホテル客室単価概況(23年10～12月実績および1月～3月見通し)

ホテル区分	実績(1客室あたり単価)		見通し(1客室あたり単価)					
	10月～12月	前年比	1月	前年比	2月	前年比	3月	前年比
本島リゾート	¥27,748	119.2%	¥34,815	130.8%	¥27,168	128.6%	¥26,970	102.7%
離島リゾート	¥24,280	107.0%	¥29,526	129.3%	¥20,451	101.7%	¥27,384	106.0%
シティホテル	¥14,031	114.1%	¥15,193	118.5%	¥17,806	134.3%	¥17,981	136.1%

(OCVB独自調査)※上記ホテル客室単価実績および見通しについては、OCVBがヒアリングした約330のホテルの平均値

(概況)

10月～12月の県内ホテル客室単価実績については、旅行マインドが堅調であったこと、物価高等の要因により、前年度比で大きく伸びている。1月から3月の見通しについても、旅行目的地として引き続き沖縄が人気であること、プロ野球・サッカーキャンプなどのスポーツイベントの開催などにより、需要の伸びが顕著であることにより、各ホテル区分ごとの客室単価については前年を超える水準で推移する見込み。

人手不足に関しては、人材派遣会社の活用、ハローワークでの求職者説明会の開催、賃金値上げ、外国人雇用等の取組の他、自動チェックイン機導入など省人化への取組が行われており、改善傾向にある事業者も一部あるが、総体として人手不足感が続いている。

(県内ホテルや旅行会社、OTAへのヒアリングによるOCVB独自調査)

3. 県内レンタカー単価概況(23年10～12月実績および1月～3月見通し)

実績			見通し								
10月-12月	22年度比	19年度比	1月	22年度比	19年度比	2月	22年度比	19年度比	3月	22年度比	19年度比
¥ 21,238	92.5%	220.3%	¥ 22,992	97.1%	186.1%	¥ 21,004	94.6%	234.9%	¥ 23,061	87.9%	259.4%

※上記、レンタカー単価実績および見通しについては、OTAからのヒアリングによるOCVB独自調査(平均値)単価については予約1件当たりの単価。

(概況)

10月～12月の県内レンタカー単価実績については、昨年度比で92.5%となった。22年度に比べレンタカー供給台数が回復したことによる価格競争のため価格は下がっているが、コロナ前19年度比では2倍以上の単価となっている。1月から3月にかけての見通しについては、引き続きレンタカー各社が供給台数の回復により単価を下げる傾向のため、前年を下回る水準となる見通しだが、引き続き2万円台となりコロナ前の価格の2倍以上の水準を維持する見込み。

(OTAおよび沖縄県レンタカー協会へのヒアリングによるOCVB独自調査)

空路国内線経由外国人入域概況(23年度見通し)

地域別	4月－12月推計	1月－3月見通し	年度合計	地域別シェア	
ヨーロッパ	60,700	16,600	77,300	ヨーロッパ	38.8%
北米	36,200	9,900	46,100	北米	23.1%
アジア	22,900	6,200	29,100	アジア	14.6%
オセアニア	6,600	1,800	8,400	オセアニア	4.2%
中米/南米	3,100	800	3,900	中米/南米	2.0%
その他	27,600	7,600	35,200	その他	17.2%
合計	157,100	42,900	200,000		

(概況)

空路国内線経由外国人入域について調査を行ったところ、4月から12月までの推計値は約15万7,000人程度となった。

1月から3月にかけての見通しは4万3,000人程度と推計され、年度合計は20万人程度と推計される。

地域別シェアではヨーロッパが最も多く38.8%、続いて北米(米国、カナダ)の23.1%と続く。欧米だけで全体の6割強を占め、空路国内線経由で多くの欧米客が沖縄へ入域していることが推計される。

(国内航空会社へのヒアリングによるOCVB独自調査)

令和6年1月31日（水）

沖縄修学旅行に関する取り組み

沖縄県における修学旅行について、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）で行った調査によると、今年度の修学旅行入込数はコロナ前と比較し約 8 割程度まで回復してきておりますが、新学習指導要領に即した学習につながるコンテンツ需要の高まりや、引き続き懸念されるバス運転手、ガイド不足等に対応するため、下記の取り組みを行いました。

1. SDGs・探究学習関連プログラムのPR および海外からの教育旅行受入状況

沖縄県より受託した「令和5年度教育旅行推進強化事業」の一環で、下記の取り組みを行いました。

① 沖縄修学旅行オンラインフェアの実施

新学習指導要領の改訂に対応する「SDGs」や「探究学習」に関心が高まっている状況を踏まえ、「沖縄で体験するSDGs・探究学習」をコンセプトに、「沖縄修学旅行オンラインフェア」を開催いたしました。県内26団体が参加し、沖縄修学旅行で体験できる様々なコンテンツや学習効果などを紹介しました。

■沖縄修学旅行オンラインフェア

日時：令和6年1月24日（水）10：00～16：00

出展事業者数：26団体

のべ視聴者数：233名

② 教員向けモニターツアーの実施

探究学習やSDGs学習に対応するコンテンツや、混雑の少ない観光閑散期（冬）の沖縄を体験してもらうことで、沖縄修学旅行の学習効果の訴求と、秋に集中する修学旅行実施時期の分散化を図るため、学校関係者を対象としたモニターツアーを開催しました。

■モニターツアー概要

日時：令和6年1月27日（土）～令和6年1月28日（日） 1泊2日

参加人数：15名

対象者：県外中学校・高等学校の学校関係者

<参加者からのコメント>

- ・ 現地の人との関わり、人を介して得る体験が非常に魅力的だと感じた。
- ・ この時期は観光客数も落ち着いており、ゆったり回れる点が魅力的である。
- ・ 体験させたいプログラムは沢山あるが、物価高も影響し、限られた予算と時間の兼ね合いでどこまで組み込めるかという視点にならざるを得ない現状がある。

③ 海外教育旅行の受入状況

今年度より急増している海外からの教育旅行について、今年 1 月～3 月には下記のとおり予定されております。

対面交流：香港 3 校、台湾 1 校 合計 4 校

オンライン交流：台湾 1 校

【参考：令和 5 年 4 月～12 月の実績】

対面交流：香港 4 校、台湾 7 校 合計 11 校

オンライン交流：台湾 4 校

<今年度交流した県内学校（順不同）>

沖縄県立芸術大学

具志川商業高等学校、前原高等学校、那覇商業高等学校、与勝高等学校

桜中学校、沖縄尚学中学校、西崎中学校、宜野湾中学校、興南中学校

田場小学校、真嘉比小学校、アミークスインターナショナル小学校、潮平小学校、

真壁小学校、光洋小学校、西小学校

<過去の受入件数>

	対面	オンライン	合計（海外学校数）
R1 年度	27	0	27
R4 年度	0	2	2
R5 年度	15	5	20

※R2 年度、R3 年度はコロナにより海外渡航不可だったため実績なし

※受入学校・件数については OCVB 把握値のみ記載

2. バスに関する意見交換会

バスドライバー不足問題について、次年度に向けて早期状況把握と改善策の検討を目的に、県内主要旅行会社、バス会社、関連団体との意見交換会を行いました。

■概要

日 程：令和 6 年 1 月 17 日（水）16：00～17：30

参加者：旅行会社、バス会社、（一社）沖縄県バス協会、沖縄県、OCVB

<意見交換会でのコメント>

- ・2023 年度分の修学旅行バス手配については、各バス会社の協力、沖縄県の緊急支援事業等のおかげで無事にすべて手配することができた。
- ・各旅行会社、バス会社、行政、関連団体等が連携して解決できたことや、そのような協力体制が取れている沖縄というプラスの面をもっとアピールし、安心して沖縄に行ける、送客できると思っただきたい。

- ・旅行の3か月前までに行程を決定し、各バス会社に提出する「3か月ルール」の徹底を図っていく。
- ・需要のバランス是正を図るため、修学旅行の実施時期分散化促進を進めるべきである。
- ・人材をどのように確保していくかは中長期的に取り組む必要がある。

【今後の取り組み（予定）】

今回の意見交換会で出た意見等を踏まえ、定期的に関係各社との会議の場を設け、緊密な連携を図りながら「人材の確保」はじめ「円滑な予約手配」について関係者全体で改善に向けた具体策の協議を重ねてまいります。

【参考】2023年度（令和5年4月～令和6年3月）の修学旅行見込入込数

※1月10日時点、旅行社15社中7社からの回答により推計（OCVB調査）※現在集計中
※2018年度・2022年度修学旅行入込実績（沖縄県観光政策課発表の修学旅行入込実績、2023年度OCVB調査による入込見込み数を掲載

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	校数	218	429	217	27	1	67	382	389	386	122	104	86	2,428
	人数	26,033	54,779	34,575	3,253	37	11,698	80,400	85,195	71,947	24,641	15,738	15,185	423,481
2022年度	校数	66	97	101	25	1	40	292	324	272	86	86	92	1,482
	人数	9,166	13,731	14,697	3,580	9	7,179	55,182	65,892	49,178	14,952	15,301	15,264	264,131
2023年度	校数	113	284	161	22	4	40	313	359	272	80	93	65	1,806
	人数	14,750	37,288	26,245	2,797	165	6,802	64,591	79,914	50,456	14,150	16,511	11,425	325,094

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課

担当：屋宜

TEL：098-859-6129

FAX：098-859-6221

Mail：shuryo@ocvb.or.jp

令和6年1月31日（水）

観光ジョブフェア「セミナー&企業説明会」を開催します ～自分らしいキャリアを見つけよう～

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎）は、沖縄県より「観光人材育成・確保促進事業」を受託しており、本格的な観光需要の回復に向けて、観光産業における人材確保を目的に、学生や求職者等と企業をマッチングするイベント「観光ジョブフェア」を開催いたします。

第一部は、株式会社ウェイアンドアイ代表取締役の栗野智子氏を迎え、企業とのミスマッチを減らすためのキャリアアンカー[※]の概念と企業理念とのマッチングの重要性についてセミナーを通じて学んでいただき、第二部は、企業ブースで企業理念を紹介するなど、企業担当者と交流できる場を設け、観光産業への就職促進を図ります。

つきましては、当日の取材およびセミナーの周知についてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※キャリアアンカーとは個人がキャリアを選択・形成する上で最も重要視していて、譲ることのできない価値観や欲求のこと。マサチューセッツ工科大学の組織心理学者であるエドガー・H・シャイン教授によって提唱され、キャリア理論として多くの企業で利用されている

記

■開催概要

- 【日 時】令和6年2月20日（火）13:00～17:00
- 【場 所】ダブルツリー by ヒルトン 那覇首里城（首里の間）
- 【対 象】2025年卒予定の学生、既卒、求職者など
- 【参加費】無料
- 【出 展】21社（予定）

■スケジュール

- 【第一部】13:00～14:30 講演及びワークショップ
テーマ：「キャリアアンカーで探る自分の本当の志向とマッチングする企業の理念を探求しよう」
講 師：株式会社ウェイアンドアイ 代表取締役 栗野智子氏
- 【第二部】14:30～17:00 企業説明（個別ブース対応）
※詳細は、別添チラシを参照ください。

【問合せ先】（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
国内事業部 受入推進課 観光人材育成センター
担当：川崎、瑞慶山、金城
TEL：098-859-6129 E-mail：ikusei@ocvb.or.jp



令和5年度 観光人材育成・確保促進事業

本当の自分知ってる？
あなたの人生が
輝く仕事に今日出会う！

観光ジョブフェア セミナー& 企業説明会

～自分らしいキャリアを見つけよう～

参加費
無料

Point! 1

観光業特化の
合同企業説明会

Point! 2

自分の価値観発見
ワークショップ
(キャリアアンカーについて)

Point! 3

企業の理念との
マッチング

日時

令和6年

2月20日(火)

お申込みは
こちら

13:00～17:00

会場

ダブルツリー-byヒルトン那覇首里城
沖縄県那覇市首里山川町1丁目132-1 (首里の間)



対象

2025年卒予定の学生、既卒、求職者など

講師

株式会社ウェイアンドアイ 代表取締役 粟野 智子氏

Profile

1992年研修・コンサルティング会社入社後、100社以上のコンサルティング支援に携わる。その後、資格取得したキャリアカウンセラーの経験と理念経営研究会の学びから、個人の個性や強みを活かしながら、イキイクワクワク働く「WHY明確化」研修を開発&担当。2014年同志と株式会社ウェイアンドアイを設立し、その後も100社以上のコンサルティング支援を行いながら講師も担当。沖縄県内の企業からも継続的に研修の依頼を受けている他、持続可能な社会や環境をつくるための前提となる価値観や考え方「サステナビリティマインド」を広める活動を実施している。

キャリアアンカーとは

キャリアアンカーとは、個人がキャリアを選択・形成する上で最も重要視していて、譲ることのできない価値観や欲求のこと。マサチューセッツ工科大学の組織心理学者であるエドガー・H・シャイン教授によって提唱され、キャリア理論として多くの企業で利用されている。



一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部受入推進課 観光人材育成センター

お問い合わせ

〒901-0152 沖縄県那覇市宇小禄 1831-1 沖縄産業支援センター2階 担当：川崎、瑞慶山、金城

TEL : 098-859-6129 / MAIL : ikusei@ocvb.or.jp

✿ 出展企業一覧 ✿

キャリアのヒントがここに。
未来につながる観光ジョブフェア

出展企業 Point!

- ① 合同企業説明会に初出展企業複数!
- ② 大手から今話題のあの企業も!

エアーエクスプレス 株式会社 (旅客・空港業)	沖縄ツーリスト株式会社 (旅行業)	株式会社オリエンタルリゾート アソシエイツ (宿泊業関連)
株式会社 カサベラコーポレーション (HOTEL AZAT) (宿泊業関連)	金秀グループ (宿泊業・ゴルフ施設)	株式会社かりゆし (宿泊業関連)
株式会社 近畿日本ツーリスト沖縄 (旅行業)	株式会社 KPG HOTEL&RESORT (宿泊業関連)	コウノイケ・ エアポートサービス株式会社 (旅客・空港業)
株式会社 ジェイシーシー (宿泊業関連)	株式会社ジャパン エンターテイメント (観光施設関連)	JAL スカイエアポート沖縄 株式会社 (旅客・空港業)
鈴与エアポートサービス 株式会社 (旅客・空港業)	ダブルオーエイト 株式会社 (観光向け人材派遣)	ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城 (宿泊業関連)
一般社団法人 豊見城市観光協会 (観光関連団体)	株式会社南都 (観光施設関連)	北部港運株式会社 (旅行業)
株式会社 星野リゾート・マネジメント (宿泊業関連)	ホテルランタナ那覇 (宿泊業関連)	一般財団法人 沖縄観光 コンベンションビューロー (観光関連団体)

※50音順

日時

令和
6年

2月20日(火) 13:00~17:00

第1部

13:00~14:30

講演及びワークショップ

第2部

14:30~17:00

企業説明

(個別ブース対応)



※イメージ

令和6年1月31日（水）

サステナブルツーリズムセミナー開催のお知らせ

『世界から選ばれ続ける「沖縄」になる！』

～戦略としてのサステナブルツーリズム～

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）は、沖縄県から令和5年度観光振興事業を受託し、SDGs 普及啓発の一環としてセミナー『世界から選ばれ続ける「沖縄」になる！～戦略としてのサステナブルツーリズム～』を開催いたします。

本セミナーでは、世界の観光マーケットおよび沖縄県内におけるサステナブルツーリズムの最新動向や現状を共有するとともに、JNTO がサステナブルツーリズムの国内先進事例として紹介している岐阜県（注1）にもご登壇いただき、観光業界のみならずモノづくり企業をはじめとする商工部門とも連携し、マーケットから選ばれている取組内容について紹介します。県内観光関連事業者・観光協会および商工関連事業者等の皆様にとって、今後の事業戦略や事業計画の立案・実行に参考となるセミナーとなっております。つきましては、ぜひ取材について検討いただきますようお願いいたします。

注1：持続可能な観光を推進するオランダのNPO法人グリーン・デスティネーションズより、「2021年サステナブルな旅行先トップ100」に長良川流域（岐阜県、岐阜市・関市・美濃市・郡上市）が、2020年に白川村が選出され、国際的にも高い評価を得ています。また、日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）に取り組んでいることを示すロゴマーク使用について、都道府県として唯一、観光庁から使用が許諾されています。

日時：令和6年3月4日（月）13：30～15：30（受付開始13：00～）

会場：02 Okinawa Office（那覇市泉崎1-20-1 カフーナ旭橋A街区 那覇オーパ3階）

対象：県内観光関連事業者、観光協会、商工関連事業者、市町村担当者等 約30名

■講演概要

1. 沖縄県におけるサステナブルツーリズムの現状と今後の展望 / 30分

沖縄県 文化観光スポーツ部 観光振興課、OCVB

2. 世界の観光マーケットにおけるサステナブルツーリズムの動向や現状 / 30分

日本政府観光局（JNTO）

3. 取組みによってマーケットから選ばれている国内先進事例紹介 / 30分

岐阜県 観光国際部 観光誘客推進課

4. 質疑応答、登壇者及び参加者との名刺交換・交流 / 30分

【お問い合わせ先】（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

企画・施設事業部 プロジェクト推進室 担当：天久、山田、河村

TEL：098-851-3868 FAX：098-859-6221 Mail：project@ocvb.or.jp